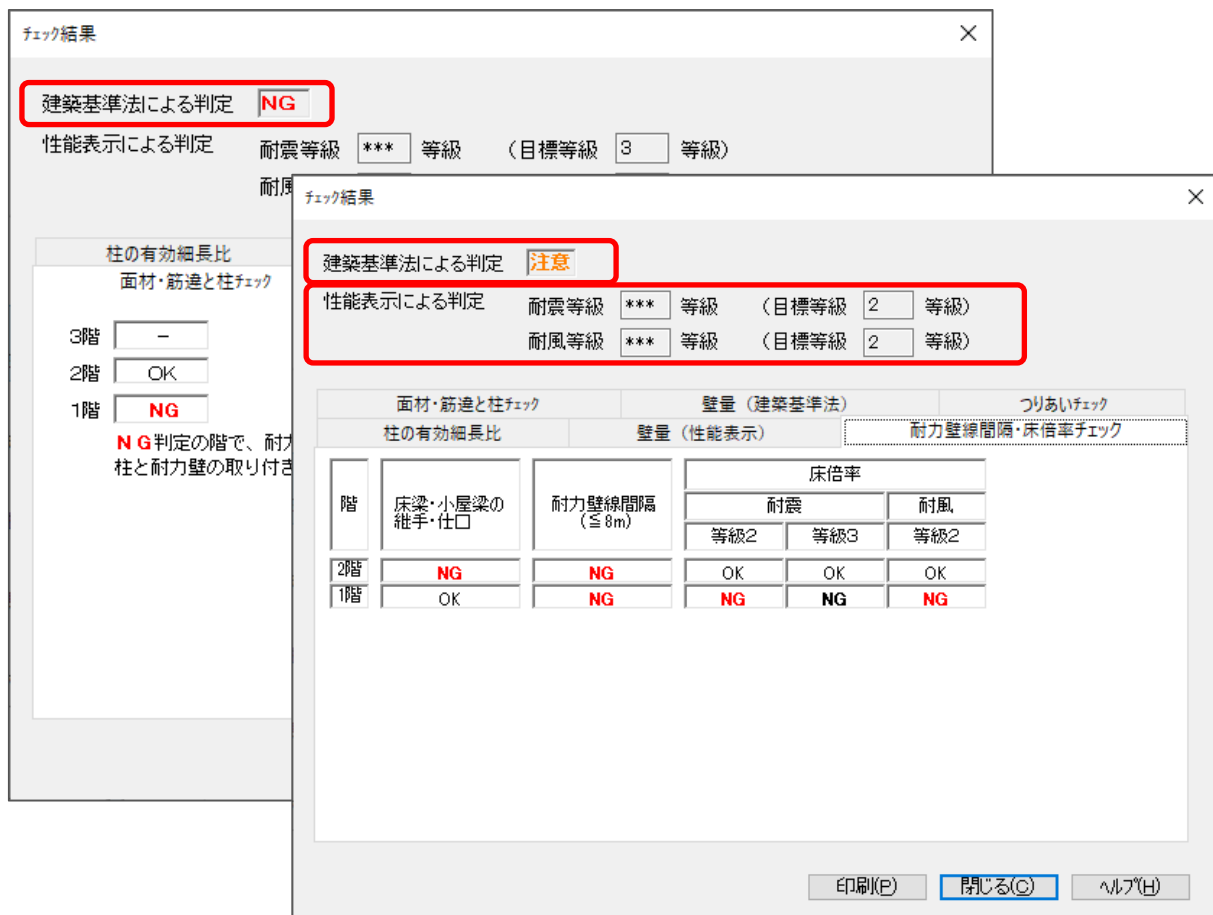


チェック結果の確認方法【壁量チェック】

文書管理番号：1185-03

Q. 質問

壁量チェックのチェック結果で、「建築基準法による判定」が NG や注意になり、「性能表示による判定」の耐震等級や耐風等級が「***」で表示される。どのように修正したらよいか。



チェック結果 (Top Window)

建築基準法による判定 **NG**

性能表示による判定 耐震等級 ******* 等級 (目標等級 等級)

耐風等級 ******* 等級 (目標等級 等級)

チェック結果 (Bottom Window)

建築基準法による判定 **注意**


性能表示による判定 耐震等級 ******* 等級 (目標等級 等級)

耐風等級 ******* 等級 (目標等級 等級)

階	面材・筋違と柱チェック		壁量 (建築基準法)		つりあいチェック	
	柱の有効細長比	耐力壁線間隔 (≦8m)	壁量 (性能表示)		耐力壁線間隔・床倍率チェック	
			耐震	耐風	耐震	耐風
2階	NG	NG	OK	OK	OK	OK
1階	OK	NG	NG	NG	NG	NG

印刷(P) 閉じる(C) ヘルプ(H)

A. 回答

 (壁量チェック)で面材・筋違の配置が不足していたり、柱芯に正しく接合していない場合や、床倍率が不足している場合などに「NG」や「注意」、性能表示による判定が「***」になります。判定結果で「NG」になっているチェック項目により、確認する部分が異なります。

建築基準法による判定が「NG」または「注意」の場合

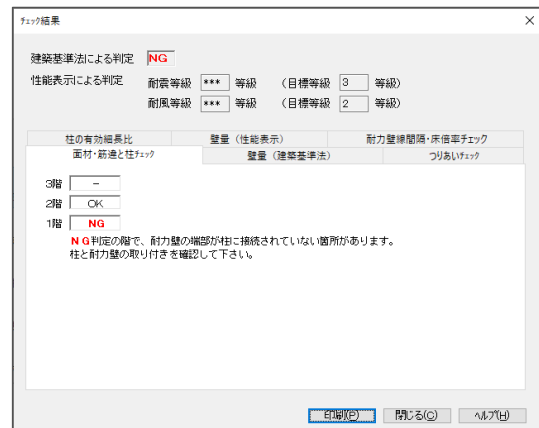
建築基準法による判定が関わるチェック項目は、以下の通りです。

- 「面材・筋違と柱チェック」に NG がある場合

耐力壁と柱の配置について確認します。

詳しい操作方法は、こちらをご覧ください。

[【1085】「面材・筋違と柱チェック」の NG 解消方法【壁量チェック】](#)

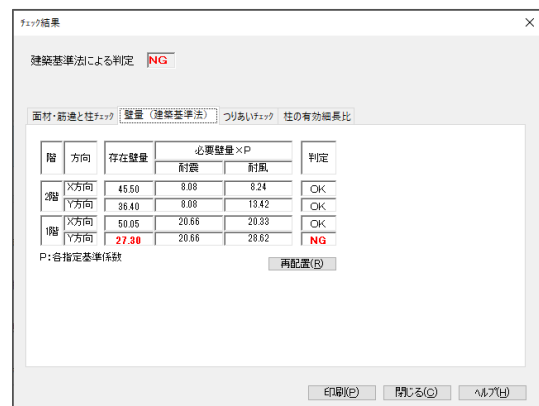


- 「壁量（建築基準法）」に NG がある場合

面材・筋違の配置や壁倍率について確認します。

詳しい操作方法は、こちらをご覧ください。

[【1186】「壁量\(建築基準法\)」の NG 解消方法【壁量チェック】](#)



- 「つりあいチェック」に NG がある場合

面材・筋違の配置位置や、壁量について確認します。

詳しい操作方法は、こちらをご覧ください。

[【1187】「つりあいチェック」の NG 解消方法【壁量チェック】](#)



- 「柱の有効細長比」に NG がある場合

プラン図で配置した柱のサイズと、準備入力で設定した横架材間距離を確認します。

詳しい操作方法は、こちらをご覧ください。

[【1188】「柱の有効細長比」の NG 解消方法【壁量チェック】](#)



性能表示による判定が「***」の場合

性能表示による判定が関わるチェック項目は、以下の通りです。

- 「壁量（性能表示）」に NG がある場合

面材・筋違の配置や壁倍率について確認します。

詳しい操作方法は、こちらをご覧ください。

[\[1189\] 「壁量\(性能表示\)」の NG 解消方法【壁量チェック】](#)

チェック結果

建築基準法による判定 OK

性能表示による判定 耐震等級 *** 等級 (目標等級 3 等級)
耐風等級 *** 等級 (目標等級 2 等級)

面材・筋違と柱チェック 壁量 (建築基準法) つりあいチェック
柱の有効細長比 壁量 (性能表示) 耐力壁線間隔・床倍率チェック

階	方向	存在壁量	耐震		耐風	
			等級2	等級3	等級2	等級2
2階	X方向	18.65	14.20	OK	17.35	OK
	Y方向	19.92	14.20	OK	17.35	OK
1階	X方向	28.52	26.84	OK	32.20	NG
	Y方向	27.12	26.84	OK	32.20	OK

再配置(R)

印刷(P) 閉じる(C) ヘルプ(H)

- 「耐力壁線間隔・床倍率チェック」に NG がある場合

面材・筋違の配置位置や配置量、水平構面の倍率を確認します。

詳しい操作方法は、こちらをご覧ください。

[\[1201\] 「耐力壁線間隔・床倍率チェック」の NG 解消方法【壁量チェック】](#)

チェック結果

建築基準法による判定 NG

性能表示による判定 耐震等級 *** 等級 (目標等級 3 等級)
耐風等級 *** 等級 (目標等級 2 等級)

面材・筋違と柱チェック 壁量 (性能表示) 耐力壁線間隔・床倍率チェック

階	床梁・小梁の種手・仕口	耐力壁線間隔 (≦ 8m)	床倍率		
			等級2	等級3	等級2
2階	OK	NG	NG	NG	NG
	OK	OK	OK	OK	OK

再配置(R)

印刷(P) 閉じる(C) ヘルプ(H)

【参考】性能表示による判定の等級表示

「準備入力」で設定した耐震・耐風等級を満たしていれば、性能表示による判定では等級が表示されます。

例えば、耐震・耐風ともに「2 等級」で設定し、耐震等級 3 は満たしていない場合、「壁量（性能表示）」や「耐力壁線間隔・床倍率チェック」では、耐震等級 3 の判定項目に「NG」と黒文字で表示されます。

しかし、目標等級は「2 等級」なので、性能表示による判定の耐震等級は「2 等級」と表示され、目標に達していることとなります。

チェック結果

建築基準法による判定 OK

性能表示による判定 耐震等級 2 等級 (目標等級 2 等級)
耐風等級 2 等級 (目標等級 2 等級)

面材・筋違と柱チェック 壁量 (建築基準法) つりあいチェック
柱の有効細長比 壁量 (性能表示) 耐力壁線間隔・床倍率チェック

階	方向	存在壁量	耐震		耐風	
			等級2	等級3	等級2	等級2
2階	X方向	20.38	14.20	OK	17.35	OK
	Y方向	14.65	14.20	OK	17.35	NG
1階	X方向	30.21	26.84	OK	32.20	NG
	Y方向	27.57	26.84	OK	32.20	OK

再配置(R)